			開講時期	2年前期集中
科	目	表現研究 		選択、専門科目
担当	者	上田聖子・岡 幸二郎	授業形態 単位数	演習 1単位
授業権	既要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに任 それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までを実践的に本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する。	云える舞台表現で こ学びます。	<b>े</b> इं
到達目	目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克復出来る。 ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーシ:	ョン力を身に付け	ける。
学修成評価基	,果の 基準	授業内課題において評価する。 ・譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 ・楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 ・身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
		授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1		ミュージカル楽曲 のソロパートを譜読みする	ウォ ( f	ナーミングアップ 予習30分・復習30分)
2	•	ミュージカル楽曲 のソロパートを分析し、歌う	·····································	■・呼吸法 予習30分・復習30分)
3	•	ミュージカル楽曲 のソロパートを歌い込む	 発声 ( 予	5・呼吸法・譜読み 予習30分・復習30分)
4	•	ミュージカル楽曲 のソロパートを歌い込む	 発声 ( 予	5・呼吸法・譜読み 予習30分・復習30分)
5	•	ミュージカル楽曲 のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	聴	るした音源を聞き、自らの声を 「予習30分・復習30分)
6	•	ミュージカル楽曲 のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	録音	音した音源を聞き、自らの声を 、
7	•	ミュージカル楽曲 のソロパートを発表する	録音	・習30分・復習30分) 昔した音源を聞き、自らの声を ・ ・習30分・復習30分)
8	•	ミュージカル楽曲 のデュエットを譜読みする	発声	・呼吸法・譜読み ・習30分・復習30分)
9	•	ミュージカル楽曲 のデュエットを分析し、歌う	聴く	もした音源を聞き、自らの声を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
10	•	ミュージカル楽曲 のデュエットを歌い込む	録音	皆した音源を聞き、自らの声を
11	•	ミュージカル楽曲 のデュエットを歌い込む	感情	5・歌・動きを整理する - 習30分・復習30分)
12	•	ミュージカル楽曲 にデュエットに台詞とステージングを入れて表現する		・歌・動きを整理する <sup>5</sup> 習30分・復習30分)
13	•	ミュージカル楽曲 のデュエットに台詞とステージングを入れて表現する	感情(予	・歌・動きを整理する <sup>5</sup> 習30分・復習30分)
14	•	ミュージカル楽曲 のデュエットを発表する	客観(予	現的に振り返る 予習30分・復習30分)
15	•	まとめ・振り返り		
教科	書	プリントを配布	1	
参考学	果の	受講態度(30%)、授業内課題(70%)		
評価方 特記する 事	<u>ち法</u> べき 項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
賀問・相 の 受		随時可		

科目	表現研究	開講時期 履修方法	2年前集中 選択、専門科目
担当者	植木 誠・81プロデュース	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	アニメの登場人物を演じる。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(4)に対応する。		
到達目標	登場人物にふさわしい声色、表情、表現を身につける。		
学修成果の 評価基準	人物の感情や状況をどのように捉え表現するかを、授業内発表で測り評価す	- ె చె.	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	台本の分析	予習分)	
2 .	オーディション		:台本を読む(30分)  :シーン1の稽古(30分)
3 .	シーン 1 を演じる	予習 復習	:台本を読む(30分) :シーン1の稽古(30分)
4 .	シーン 1 を演じる	予 <b>習</b> 復 <b>習</b>	:台本を読む(30分) :シーン1の稽古(30分)
5.	シーン 1 を演じる	予 <b>習</b> 復 <b>習</b>	:台本を読む(30分)  :シーン1の稽古(30分)
6.	シーン 1 を演じる	予 習 復 習	:台本を読む(30分)  :シーン2の稽古(30分)
7.	シーン 2 を演じる	予 習 復 習	:台本を読む(30分)  :シーン2の稽古(30分)
8 .	シーン 2 を演じる	予習 <b>多</b> 習	:台本を読む(30分) :シーン2の稽古(30分)
9 .	シーン 2 を演じる	予 <sub></sub> 予 復 復	:台本を読む(30分) :シーン2の稽古(30分)
10 .	シーン 2 を録音する	予習 復習	:台本を読む(30分) :シーン3の稽古(30分)
11 .	シーン 3 を演じる	予 <b>習</b> <b>多</b> 習	:台本を読む(30分) :シーン3の稽古(30分)
12 .	シーン 3 を演じる	予習 <b>多</b> 習	:台本を読む(30分) :シーン3の稽古(30分)
13 .	シーン 3 を演じる	予習 <b>予</b> 習 復習	:台本を読む(30分)  :シーン3の稽古(30分)
14 .	シーン 3 を録音する	予習 <b>予</b> 習 復習	:台本を読む(30分)  :シーン3の稽古(30分)
15 .	まとめ	予習 <b>予</b> 習 復習	:台本を読む(30分) :授業を振り返る(30分)
教科書	台本と映像を用意する。		
参考書			
学修成果の評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(30%)、授業内発表(40%)		
記すべき 項			

科目	表現研究		2 年後期集中 選択、専門科目
担当者	ボビー中西・金 世一	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	想像の設定の中で真実を生きる。真の俳優になるためのリアリズム演技を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	自由で個性豊かな俳優としての基礎を身につけ、表現者として自らの課題を発見する 演劇を通して深い人間理解を持ち、人の思いや価値観を受けとめることができる。	ることが出来る	3.
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する 状況に応じたリアルな感情表現が出来る。 相手を受け入れて反応することが出来る。 演出の意図をくみ取り演技をすることが出来る。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	PT体操後、身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一 )	写す	3: 興味のある新聞記事を書き (30分) 復習:自己認識と 記識をまとめる(30分)
2 .	「ゼロ」訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一 )	予習	三興味のある新聞記事を書き   (30分) 復習:自己認識と   13歳をまとめる(30分)
3 .	「ゼロ」(全身左右)訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習 写す	三興味のある新聞記事を書き   (30分) 復習:自己認識と   意識をまとめる(30分)
4 .	パタン歩きの訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一 )	予習 写す	智:興味のある新聞記事を書き 「(30分) 復習:いい声とは
5 .	発声訓練を行う。(金 世一 )	予習	りいう声なのか(30分) 習:興味のある新聞記事を書き 「(30分) 復習:いい声とは らいう声なのか(30分)
6 .	読み歩き訓練を行う1(金 世一 )	予習   写す	30月 (30万) 君:興味のある新聞記事を書き「(30分) 復習:いい声とは らいう声なのか(30分)
7.	読み歩き訓練を行う2(金 世一 )	予習 写す	3: 興味のある新聞記事を書き「(30分) 復習: いい声とは いう声なのか(30分)
8 .	トラスト練習(目隠し練習・観察・信頼) センスリーワーク(コーヒーカップ練習・暑さ、寒さの練習法)(ボビー中西)	予 <b>習</b> (30	3:ウォーミングアップを行う 3分) 復習:リラクゼーショ 5行う(30分)
9 .	アニマルワーク(動物の観察・動物になってみる)(ボビー中西)	予習	: 下調べをする(30分) 3: 動物を観察し絵にする(30
10 .	レペテション (相手を見る)(ボビー中西)	予習 復習	。 冒:下調べをする(30分) 冒:怖い領域に飛び込むとは何 をノートする(30分)
11 .	レペテション (反応する)(ボビー中西)	予習 復習	3: 下調べをする(30分) 3: 自己開示を理解しノートす 30分)。
12 .	レペテション (行動する)(ボビー中西)	予習 復習	300万。 3:下調べをする(30分) 3:自分の中の嘘を発見し捨て 1く(30分)
13 .	レペテション (相手とつながる)(ボビー中西)	予 <b>習</b> 復習	1、(30万) 3:下調べをする(30分) 3:相手に委ねて衝動に身を任 5。(30分)
14 .	感情準備 (切迫した状況を演じる)(ボビー中西)	予習 復習	30万万 3:下調べをする(30分) 3:切迫した状況を思い出し感 5(30分)
15 .	感情準備 (相手に委ね、自己を発見する)(ボビー中西)	予習	30分) 3:下調べをする(30分) 3:見られていない状況で感じ には何かをノートする(30分)
教科書	プリント配布		
参考書学修成果の	授業態度(30%)、授業内課題(70%)		
<u>評価方法</u> 特記すべき	10年80度(3070)、10年70杯題(7070) 動ける服装で受講のこと。		
事項 質問·相談等	授業の前後に対応可		

科目			2 年前期 選択、専門科目			
担当者		授業形態単位数	実技			
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。					
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッス することができる。	ンを通し、	自己を肯定し積極的に表現			
学修成果6	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。					
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	バーレッスン オウミリュー 1	授業	の予復習			
2 .	バーレッスン オウミリュー 2	授業	の予復習			
3 .	バーレッスン オウミリュー 3	·····································	の予復習			
4 .	バーレッスン オウミリュー 4	授業	の予復習			
5 .	バーレッスン オウミリュー 5	授業	の予復習			
6 .	バーレッスン オウミリュー 6	·····································	の予復習			
7 .	バーレッスン オウミリュー 7	授業	の予復習			
8 .	バーレッスン オウミリュー 8	授業	(の予復習			
9 .	バーレッスン オウミリュー 9	授業	の予復習			
10 .	バーレッスン オウミリュー 10	授業	(の予復習			
11 .	バーレッスン オウミリュー 11	授業	の予復習			
12 .	前期のまとめ(アダジオ、アレグロ、ワルツ)	授業	である。 の予復習			
13 .		授業	の予復習			
14 .		授業	の予復習			
15 .		·····································	の予復習			
教科書						
参考書						
学修成果の 評価 方法						
事項		ハ怪我に注	意すること。			
質問・相類の 受 付						

科目			2 年後期 選択、専門科目			
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数				
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。					
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッス: することができる。	ンを通し、	自己を肯定し積極的に表現			
学修成果6	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。					
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	バーレッスン オウミリュー 1	授業	の予復習			
2 .	バーレッスン オウミリュー 2	·····································	の予復習			
3 .	バーレッスン オウミリュー 3	授業	の予復習			
4 .	バーレッスン オウミリュー 4	授業	(の予復習			
5 .	バーレッスン オウミリュー 5	授業	(の予復習			
6 .	バーレッスン オウミリュー 6	授業	(の予復習			
7 .	バーレッスン オウミリュー 7	授業	色の予復習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
8 .	バーレッスン オウミリュー 8	授業	色の予復習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
9 .	バーレッスン オウミリュー 9	授業	(の予復習			
10 .	バーレッスン オウミリュー 10	授業	色の予復習			
11 .	バーレッスン オウミリュー 11	授業	の予復習			
12 .	前期のまとめ(グランワルツ、コーダ)	授業	である。 の予復習			
13 .		授業	の予復習			
14 .		授業	の予復習			
15 .		·····································	の予復習			
教科書						
参考書						
学修成果の 評価 方法						
事項		八怪我に注	意すること。			
質問・相類の 受 付						

1V 🗆		開講時期	2年前期
科 目	身体表現研究 B -	履修方法	選択、専門科目
担当者		授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音楽に合わせ、身体表現することができる。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。		
到達目標	基礎力を上げながら、身体表現できるようになる。		
学修成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	追加アイソレーション・ステップ ・コンビネーション	振り	の付けの復習
2 .	追加アイソレーション・ステップ ・コンビネーション	振じ	)付けの復習
3 .	ステップ ・コンピネーション 人前発表	振り	り付けの復習
4 .	ステップ ・コンピネーション	振り	0付けの復習
5.	ステップ の復習・コンビネーション	振り	り付けの復習
6 .	コンビネーション 人前発表	振り	0付けの復習
7.	ステップ ・コンビネーション	振り	り付けの復習
8.	ステップ の復習・コンビネーション	振り	り付けの復習
9.	コンビネーション 人前発表	振り	0付けの復習
10 .	コンビネーション	振り	り付けの復習
11 .	コンピネーション	振り	)付けの復習
12 .	コンビネーション 人前発表		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書		1	
参考書	水分・身体のラインが見える服装・シューズ・タオル		
学修成果の評価方法	受講態度(60%)、予習復習(20%)、試験(20%) 髪の長い人は結んでください		
特記すべき 事 項 質問・椎族等	友の区が人は約00~~たのが		
の受付			

科目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	2 年後期 選択、専門科目
担当者	深川詞梨	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	基礎力・技術力を高めながら、振り付けを覚えることができ、表現できる。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	半世奴	0.5年  近
到達目標	振り付けを早く正確に覚えることができ、音楽を感じて、身体表現することができる。		
学修成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	コンビネーション	振り	<u>予習・復習</u> )付け・習ったステップの復習
2 .	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
3 .	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
4 .	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
5.	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
6 .	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
7.	コンピネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
8.	コンピネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
9.	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
10 .	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
11 .	コンビネーション	振り	)付け・習ったステップの復習
12 .	コンビネーション 試験		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書		1	
多写画	水分・身体のラインが見える服装・シューズ・タオル		
学修成果の評価方法	受講態度(60%)、予習復習(20%)、試験(20%) 髪の長い人は結んでください		
特記すべき 耳	友の反い人は何の こください		

科目	身体表現研究 С -	開講時期履修方法	2 年前期 選択、専門科目			
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位			
授業概要	表現者として自分の肉体を知り、鍛錬し、表現の幅を広げていくための授業です。 音楽に合わせて身体を動かすことで心が動く、楽しみながら自由な身体表現を磨くと共に協調性やコミュニケーションの向上 を 授業目的の一環とします。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。					
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として鍛錬を積み重ねていくことができる。					
学修成果の 評価基準	前期終了時にテストを行いその結果において評価する。 柔軟性の向上 基礎の向上 振付を正確に覚えることができる 100点満点中50点以上を評価基準とする					
	授業計画(授業内容)	_	授業時間外学習 予習・復習			
1 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(ピルエット、グランバットマン)	スト	シレッチ、コンビネーション			
2 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(ピルエット、グランバットマン、ターン)	スト	・レッチ、コンビネーション			
3 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動)	スト	・レッチ、コンビネーション			
4 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動、アクセント)	スト	・レッチ、コンビネーション			
5 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、アクセント)	スト	・レッチ、コンビネーション			
6 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、動きの流れ)	スト	・レッチ、コンビネーション			
7 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(曲の中でアクセント身体のラインを意識する)	スト	・レッチ、コンビネーション			
8 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(曲の中で流れを意識してダイナミックに踊る)	スト	・レッチ、コンビネーション			
9 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(フォーメーションの中で空間認識を持ち踊る)	スト	・レッチ、コンビネーション			
10 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレ工基礎、クロスフロア コンピネーション(オーディエンスを意識してダイナミックに踊る)	スト	・レッチ、コンビネーション			
11 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)パレエ基礎、クロスフロア コンピネーション(オーディエンスを意識してダイナミックに踊る)	スト	・レッチ、コンビネーション			
12 .	試験課題	スト	・レッチ、コンビネーション			
13 .						
14 .						
15 .						
教科書		I				
参考書						
学修成果の 評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(70%)					
事 項	ジャズシューズ、動きやすいストレッチ性のある服装で受講すること					
賀明・相終 の 受 付	随時可					

科目	身体表現研究 С -	開講時期 履修方法	2 年後期 選択、専門科目			
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位			
	表現者として自分の肉体を知り、鍛錬し、表現の幅を広げていくための授業です。 音楽に合わせて身体を動かすことで心が動く、楽しみながら自由な身体表現を磨くと共に協調性やコミュニケーションの向上					
授業概要	を 授業目的の一環とします。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。					
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として鍛錬を積み重ねていくことができる。					
学修成果の 評価基準	後期終了時にテストを行いその結果において評価する。 柔軟性の向上 基礎の向上 振付を正確に覚えることができる 100点満点中50点以上を評価基準とする					
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(ピルエット、グランバットマン)	スト	<u> </u>			
2 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(ピルエット、グランバットマン、ターン)	スト	・レッチ、コンビネーション			
3 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動)	スト	・レッチ、コンビネーション			
4 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動、アクセント)	スト	・レッチ、コンビネーション			
5 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、アクセント)	スト	・レッチ、コンビネーション			
6 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、動きの流れ)	スト	・レッチ、コンビネーション			
7.	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(曲の中でアクセント、身体のラインを意識する)	スト	・レッチ、コンビネーション			
8 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)パレエ基礎、クロスフロア コンピネーション(曲の中で流れを意識してダイナミックに踊る)	スト	・レッチ、コンビネーション			
9.	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(フォーメーションの中で空間認識を持ち踊る)	スト	・レッチ、コンビネーション			
10 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(オーディエンスを意識してダイナミックに踊る)	スト	・レッチ、コンビネーション			
11 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(オーディエンスを意識してダイナミックに踊る)		・レッチ、コンビネーション			
12 .	試験課題	スト	・レッチ、コンビネーション			
13 .						
14 .						
15 .						
教科書						
参考書	双性性的 (2007) 4 初 半十年日 (2007)					
評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(70%)					
事 項	ジャズシューズ、動きやすいストレッチ性のある服装で受講すること					
質問・椎類の 受付	随時可 					

科目	身体表現研究 D -	開講時期履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者		授業形態	実技
授業概要	 級陣とアクションの基礎を学び、表現者としての幅を広げると共に、自身の肉体の特性 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		0.5単位
到達目標	自分の肉体の特性を知り、コントロールすることが出来る。		
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
			授業時間外学習
1.	体幹トレーニング・柔軟体操	ウォ	<mark>予習・復習</mark> - ーミングアップ・クールダウ - 行う
	帯の結び方・剣の持ち方・素振り		:11つ - ーミングアップ・クールダウ :行う
3 .	素振り・体さばき	ウォ ンを	- ーミングアップ・クールダウ - 行う
4 .	素振り・体さばき・型 1		- -ミングアップ・クールダウ - 行う
5.	素振り・体さばき・型 2	ウォ ンを	- −ミングアップ・クールダウ =行う
6 .	手合わせ1(相手との距離感)	ンを	· ーミングアップ・クールダウ - 行う
7.	手合わせ2(間合い)	ウォ ンを	· -ミングアップ・クールダウ <del>·</del> 行う
8.	手合わせ3(魅せ方)	ウォ ンを	- -ミングアップ・クールダウ - 行う
9.	手合わせ4(リアリズム)	ウォ ンを	- -ミングアップ・クールダウ - 行う
10 .	シーン練習1(真とかかり)	ウォ ンを	· -ミングアップ・クールダウ - 行う
11 .	シーン練習2(総合練習)	ンを	· ーミングアップ・クールダウ <del>፡</del> 行う
12 .	各チームシーン発表	ウォ ンを	· -ミングアップ・クールダウ <del>·</del> 行う
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書	□ ****		
評価方法 特記すべき	受講態度(50%)、授業内課題(50%)  殺陣師、渥美博氏に師事。 2017年まで東京に於いて様々な舞台に出演、アクションコーディネートを行う。  随時可		

科目		開講時期履修方法	2 年後期 選択、専門科目
		授業形態	実技
			0.5単位
   授業概要 			
到達目標	自分の肉体の特性を知り、コントロールすることが出来る。		
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習
1.	ボディアクション 1 キックとパンチの打ち方	ウォ	<u>予習・復習</u> ニーミングアップ・クールダウ
	ボディアクション 2 空手・型		:行う 
2 .			
3.	ボディアクション 3 組み手A		· ーミングアップ・クールダウ ÷行う
4 .	ボディアクション 4 組み手B 	ウォ ンを	· ーミングアップ・クールダウ -行う
5.	ボディアクション 5 組み手C	ウォ ンを	· ーミングアップ・クールダウ <del>·</del> 行う
6 .	体操基礎 1 マット運動	ウォ ンを	- -ミングアップ・クールダウ - 行う
7.	体操基礎 2 受身・側転	ウォ ンを	- ーミングアップ・クールダウ -行う
8 .	体操基礎 3 転回・飛び込み前転・バク転	ウォンを	- ーミングアップ・クールダウ -行う
9 .	体操基礎 4 ロンダート・繋ぎ技	ウォ ンを	- ーミングアップ・クールダウ -行う
10 .	シーン練習1(手付け・総合練習)	ウォンを	- ーミングアップ・クールダウ -行う
11 .	シーン練習2(手付け・総合練習)	ウォンを	· ーミングアップ・クールダウ -行う
12 .	各チームシーン発表	ウォ ンを	· ーミングアップ・クールダウ 行う
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学修成果の評価方法	授業態度(50%)、授業内課題(50%)		
事 項	殺陣師、渥美博氏に師事。   2 0 1 7 年まで東京に於いて様々な舞台に出演、アクションコーディネートを行う。		
質問・椎類の 受付			

科目	音声表現研究A -	開講時期	2年前期 選択、専門科目
担当者	<u>植木</u>	授業形態 単位数	
授業概要	1年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる技術を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		0.5年  近
到達目標	音声を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現にとどまらず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学修成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から総合的に評価する。		
	授業計画(授業内容)	_	授業時間外学習 予習・復習
1 .	授業概要の確認	(予	7 自 1 1 2 目 7 習・復習各 3 0 分)
2 .	外郎売の復習	外 ( 予	3売の確認をしておく 7習・復習各30分)
3 .	MC、会話の広げ方	原稿(予	高を読んでおく 5習・復習各30分)
4 .	MC、会話の広げ方	原稿(予	高を読んでおく 予習・復習各30分)
5 .	ナレーション実践	原稿(予	高を読んでおく 5習・復習各30分)
6 .	ナレーション実践	原稿(予	高を読んでおく 5習・復習各30分)
7.	ラジオ番組制作	企画 ( 予	『を考える 5習・復習各30分)
8 .	ラジオ番組制作	企画 ( 子	『を考える 5習・復習各30分)
9 .	ラジオ番組制作	企画(予	『を考える 5習・復習各30分)
10 .	ラジオ番組制作	企画 ( 予	原を考える 5習・復習各30分)
11 .	初見力を鍛える	発声(予	・ストレッチ等 5習・復習各30分)
12 .	初見力を鍛える	発声(子	・ストレッチ等 5習・復習各30分)
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等	<b>.</b>	
参考書	平達能由(4004) 「四类内発主(6004)		
学修成果の評価方法	受講態度(40%)、授業内発表(60%)		
野・相等	声優として多数の作品に出演		
質問・相談寺の 受付			

科目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態	
授業概要	1年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる技術を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。	,	. —
到達目標	音声を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現にとどまらず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学修成果 <i>の</i> 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から総合的に評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1.	物語を紡ぐ	発声(子	デ <u>ロ・18日</u> ・ストレッチ等 ・習・復習各30分)
2 .	物語を紡ぐ	発声(予	・ストレッチ等 習・復習各30分)
3 .	ビブリオバトル	プレ (予	・ゼン本選定 ・習・復習各30分)
4 .	ビブリオバトル	プレ	・ゼン原稿準備 ・習・復習各30分)
5 .	ビブリオバトル	プレ (予	·ゼン原稿準備 ·習・復習各30分)
6.	ラジオ番組制作	進行 (予	台本を読んでおく 習・復習各30分)
7.	ラジオ番組制作	進行 (予	行台本を読んでおく ・習・復習各30分)
8.	ラジオ番組制作	進行 (予	行台本を読んでおく 習・復習各30分)
9.	ラジオ番組制作	進行(予	台本を読んでおく 習・復習各30分)
10 .	ラジオ番組制作	進行(予	f台本を読んでおく 習・復習各30分)
11 .	ラジオ番組制作	進行 (予	台本を読んでおく 習・復習各30分)
12 .	まとめ	振り (予	返り 習・復習各30分)
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学修成果の 評 価 方 法	受講態度(40%)、授業内発表(60%)		
特記すべき			
質問・椎 の 受 付			

科目			2年前期 選択、専門科目		
担当者	$1 \qquad 1 \qquad$	受業形態 単位数	実技 0.5単位		
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ。 スタジオ内でのマイクワークを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。	— IXX	0.04 12.		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立。 スタジオ内でのマナーや専門用語を知ることにより作品をより深く理解していく能力を身につける。 マイクワークを習得し収録作業を円滑に行う。				
学修成果の 評価基準	授業内で声優の役割を理解し実技実践していく中で、状況に合わせた芝居ができているか ( キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワーク 総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる	を作品を円滑に	<sup>送</sup> 表にて評価する 行うことができているか)		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習		
1 .	授業概要の確認 目標・進路を設定する	シラ	<u>予習・復習</u> デバスを読んでおく		
2 .	言葉へのアプローチ	配付	†プリントを読んでおく		
3 .	セリフ 声のみの表現(第一段階)	配布	5プリンとを読んでおく		
4 .	セリフ 声のみの表現(第二段階)	台本	を読んでおく		
5.	アニメアフレコ (1) クオリティの高いセリフ	台本	を読んでおく		
6.	アニメアフレコ(2) 綿密なキャラクター作り(第一段階)	台本	を読んでおく		
7.	アニメアフレコ(3) 作品発表 綿密なキャラクター作り(第二段階)		sを読んでおく 		
8 .	アニメアフレコ(4 )   的確な映像解析 		を読んでおく 		
9 .	アニメアフレコ(5 )   生きた芝居(第一段階 ) 		を読んでおく		
10 .	アニメアフレコ(6) 作品発表   生きた芝居(第二段階)		sを読んでおく 		
11 .	アニメアフレコ ( 7 )		なを読んでおく 		
12.	アニメアフレコ ( 8 )	台本	を読んでおく		
13 .					
14 .					
15 .					
教科書	なし				
参考書					
学修成果の評価方法	受講態度(40%)、授業内課題(40%)、その他【演技への積極性】(20%)				
有記9へさ事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として29年の実務経験を有しています				
の 受付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける 				

科目			2 年後期 選択、専門科目
担当者		受業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ。 スタジオ内でのマイクワークを学ぶ。 外画素材を使いアテレコのスキルを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。	+ 1220	V.OT  2
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立。 スタジオ内でのマナーや専門用語を知ることにより作品をより深く理解していく能力を身 マイクワークを習得し収録作業を円滑に行う。 外画アテレコの習得。	トにつける	5.
学修成果の 評価基準	授業内で声優の役割を理解し実技実践していく中で、状況に合わせた芝居ができているか (キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワーク:総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる	へを作品系 を円滑に	<b>光表にて評価する</b> 行うことができているか)
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習
	アテレコについて学ぶ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<u>予習・復習</u> プリントを読んでおく
1 .	アニメと外画の収録の違いを学ぶ	HC1\	]ノソノドで読んじあく
2 .	外画アテレコ1 - 1 短いシーンを使いアテレコの流れを学ぶ (第一段階)	台本	を読み映像を見ておく
3 .	外画アテレコ1 - 2 作品発表 短いシーンを使いアテレコの流れを学ぶ (第二段階)	台本	を読み映像を見ておく
4.	外画アテレコ2 - 1 台本と映像の関係を理解する (第一段階)	台本	を読み映像を見ておく
5.	外画アテレコ2 - 2 作品発表 台本と映像の関係を理解する (第二段階)	台本	を読み映像を見ておく
	外画アテレコ3 - 1 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第一段階)	台本	を読み映像を見ておく
7.	外画アテレコ3 - 2 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第二段階)	台本	を読み映像を見ておく
8 .	外画アテレコ3 - 3 作品発表 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第三段階)	台本	を読み映像を見ておく
9.	外画アテレコ4 - 1 クオリティの高いセリフ(第一段階)	台本	を読み映像を見ておく
10 .	外画アテレコ4 - 2 作品発表 クオリティの高いセリフ(第二段階)	台本	を読み映像を見ておく
	外画アテレコ4 - 3 クオリティの高いセリフ(第三段階)	台本	を読み映像を見ておく
12 .	外画アテレコ4 - 4 作品発表 クオリティの高いセリフ(第四段階)	台本	を読み映像を見ておく
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	なし		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度(40%)、授業内課題(40%)、その他【演技への積極性】(20%)		
特記すべき	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として29年の実務経験を有しています		
	担当有は戸陵として29年の美務経験を行していまり 質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目			
担当者	河本章宏・生野奈津美	授業形態 単位数				
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びま 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。	舞台表現で す。	. चे 。			
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克復出来る。 ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。					
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。					
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	楽曲1を譜読みする	発声	・呼吸法・譜読み			
2 .	   楽曲1を分析し歌う 	   発声	・呼吸法・譜読み			
3 .		録音	「し、反復練習			
4 .	楽曲 1 を歌い込む	録音	もし、反復練習			
5.	楽曲 1 に台詞とステージングを入れて表現する	録音	し、反復練習			
6 .	楽曲 1 に台詞とステージングを入れて表現する	録音	し、反復練習			
7 .	楽曲 1 を発表(課題)する	客観	的に振り返る			
8 .	楽曲 2 を譜読みする	·····································	・呼吸法・譜読み			
9 .	楽曲 2 を分析し歌う	·····································	・呼吸法・譜読み			
10 .	楽曲 2 歌い込む	録音	し、反復練習			
11 .	楽曲 2 にステージングと台詞を入れて表現する	 録音	し、反復練習			
12 .	楽曲2を(課題)発表する	客額	的に振り返る			
13 .						
14 .						
15 .						
教科書	プリントを配布する 	1				
参考書						
学修成果の 評価方法	受講態度 (30%) 授業内課題 (70%)					
事 項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。					
調・植り の 受付	随時可					

科目	ミュージカル研究	開講時期履修方法	2 年後期 選択、専門科目			
担当者	河本章宏・生野奈津美	授業形態 単位数				
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びま 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。	舞台表現で す。	<u>ें</u> वे 。			
到達目標	  自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克復出来る。  ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。 					
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。					
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	楽曲 3 を譜読みする	発声	・呼吸法・譜読み			
2 .	楽曲 3 を分析し歌う	発声	・呼吸法・譜読み			
3 .	楽曲 3 を歌い込む	録音	「し、反復練習			
4 .	楽曲 3 を歌い込む	録音	し、反復練習			
5.	楽曲 3 に台詞とステージングを入れて表現する	録音	もし、反復練習			
6.	楽曲 3 に台詞とステージングを入れて表現する	 録音	し、反復練習			
7.	楽曲3を発表(課題)する	客観	的に振り返る			
8 .	楽曲 4 を譜読みする	発声	・呼吸法・譜読み			
9.	楽曲4を分析し歌う	発声	・呼吸法・譜読み			
10 .	楽曲 4 歌い込む	録音	し、反復練習			
11 .	楽曲 4 にステージングと台詞を入れて表現する	·····································	し、反復練習			
12 .	楽曲4を(課題)発表する	客勧	的に振り返る			
13 .						
14 .						
15 .						
教科書	プリントを配布する					
参考書						
学修成果の評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(70%) 動ける服装で受講のこと。					
事 質問・椎 変の 受付	1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。					

		開講時期	2年前期		
科目	音楽表現 		選択、専門科目		
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位		
授業概要	音楽の基礎を学び、その表現方法を学ぶ講座です。 楽曲の仕組みと成り立ち、声帯の仕組み、呼吸法、発声法、楽譜の読み方、楽曲表現まで音楽理論を基礎から学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。 授業概要				
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克復出来る。 音楽を通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。				
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 楽曲の理解と発声の仕組みを理解することが出来る。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。				
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習		
1 .	音楽理論1(音楽から伝わるものを感じ、何を表現するべきかを考える)	ウォ	- J/白 15白 ・ーミングアップ		
2 .	音楽理論 2 (譜面の読み方・音楽基礎)	発声	・呼吸法		
3 .	音楽理論3(コードを学ぶ)	発声	・呼吸法・譜読み		
4 .	音楽理論4(発声法・呼吸法)	光声	・呼吸法・譜読み		
5 .	音楽理論 5 (楽曲 1 を府読みする)	録音聴く	した音源を聞き、自らの声を		
6 .	音楽理論6(感情と身体を使い楽曲1を表現する)	録音聴く	した音源を聞き、自らの声を		
7 .	音楽理論7(楽曲1のハーモニーを合唱する)	録音 聴く	した音源を聞き、自らの声を		
8 .	音楽理論8(楽曲1をチームごとに発表する)	発声	・呼吸法・譜読み		
9 .	音楽理論9(楽曲2を府読みする)	録音聴く	した音源を聞き、自らの声を		
10 .	音楽理論10(感情と身体を使い楽曲2を表現する)	録音聴く	した音源を聞き、自らの声を		
11 .	音楽理論11(楽曲2のハーモニーを合唱する)	感情	・歌・動きを整理する		
12 .	音楽理論12(楽曲2をチームごとに発表する)				
13 .					
14 .					
15 .					
教科書	プリントを配布	'			
参考書	177-5# 485 CFT / 0.00 ( ) \$177 Witch 5 EP FT / 700 ( )				
評価方法	受講態度(30%)授業内課題(70%)				
事 項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。				
質問・相談等の 受付	聞・相 時   随時可 D 受 付				

		期 議 吐 田	2 年後期			
科目			選択、専門科目			
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位			
授業概要	音楽の基礎を学び、その表現方法を学ぶ講座です。 楽曲の仕組みと成り立ち、声帯の仕組み、呼吸法、発声法、楽譜の読み方、楽曲表現まで音楽理論を基礎から学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースドの学修成果(5)に対応する。					
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克復出来る。 音楽を通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。					
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 楽曲の理解と発声の仕組みを理解することが出来る。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。					
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	楽曲 3 を府読みし、楽曲の意図するものを理解する。	ウォ	- J/自・1を自 - ーミングアップ			
2 .	楽曲 3 を歌唱する。	発声	・呼吸法			
3 .	楽曲 3 をグループにわけ合唱する。	発声	・呼吸法・譜読み			
4 .	楽曲 3 をグループで発表する。	発声	・呼吸法・譜読み			
5 .	楽曲 3 を聞きあい、歌唱表現とはなにか?を考察する。	 録音 聴く	もままで聞き、自らの声を ・			
6 .	楽曲4を府読みし、楽曲の意図するものを理解する。	録音聴く	した音源を聞き、自らの声を			
7.	楽曲4を歌唱する	録音聴く	らった音源を聞き、自らの声を ・			
8 .	楽曲 4 をグループにわけ合唱する。	発声	5・呼吸法・譜読み			
9.	楽曲 4 をグループで発表する。	録音聴く	らした音源を聞き、自らの声を			
10 .	楽曲4を聞きあい、歌唱表現とはなにか?を考察する。	録音聴く	もした音源を聞き、自らの声を			
11 .	楽曲3、4をステージで発表する。	感情	・歌・動きを整理する			
12 .	音楽基礎を総合的に振り返る。					
13 .						
14 .						
15 .						
教科書	プリントを配布	I				
参考書						
学修成果の 評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(70%)					
事 項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。					
賀問・相類 の 受 付	随時可 					

科目	舞台技術	開講時期履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基本を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。	71220	
到達目標	舞台芸術を創作する上での、劇場スタッフに必要な知識と技術を身に付ける。		
学修成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果で評価をします。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	舞台監督の仕事の復習(1年生の復習)	予習 復習	アライを目 日: 1年生を振り返る(30分) 日: 授業を振り返る(30分)
2 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	·····································	:綱元を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
3 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	予習 復習	:綱元を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
4 .	舞台機構 (舞台の歴史・舞台の形式などを理解する)	予習 復習	:舞台機構を調べる(30分)  :授業を振り返る(30分)
5 .	舞台機構 (さまざまな舞台の幕類を理解する)	予 <b>智</b>	:舞台機構を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
6 .	舞台の仕込み (夏公演)	予習 復習	: 仕込みを考える(30分)  : 授業を振り返る(30分)
7 .	舞台の仕込み (夏公演)	予習 <b></b> 復習	:仕込みを考える(30分) :授業を振り返る(30分)
8.	舞台の仕込み (夏公演)	予 <b>習</b> 復 <b>習</b>	:仕込みを考える(30分) :授業を振り返る(30分)
9 .	舞台の仕込み (夏公演)	予習 復習	:仕込みを調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
10 .	舞台の仕込み (夏公演)	予習 復習	: 仕込みを調べる(30分) : 授業を振り返る(30分)
11 .	舞台監督の仕事 (各スタッフとの連携 演出家・美術家・音響、照明スタッフなど)	予習 復習	: スタッフを調べる(30分) : 授業を振り返る(30分)
12 .	舞台監督の仕事 (演劇)	予習 復習	: 舞台演目を調べる(30分) : 授業を振り返る(30分)
13 .	舞台監督の仕事 (ミュージカル)	予習	:舞台演目を調べる(30分)  :授業を振り返る(30分)
14 .	舞台監督の仕事 (海外の舞台演目)	予習 復習	:舞台演目を調べる(30分)  :授業を振り返る(30分)
15 .	まとめ(前期の復習 ・ 振り返りと点検)	予習	:前期を振り返る(30分) 1:授業を振り返る(30分)
教科書		l	
参考書 学修成果の 評価方法	受講態度(50%)、授業内課題(50%)		
	作業用の革手袋の準備をお願いします。		
	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	舞台技術	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態単位数	演習 1単位
受業概要	前期の舞台演習 で学んだ基礎知識を基に、より詳細な劇場スタッフに必要な知識本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
l達目標	質の高い舞台芸術を創作するためのスタッフの役割と業務を理解する。		
修成果の 平価基準	受講態度に加え授業内課題の成果で評価をします。		
	授業計画(授業内容)	<u> </u>	授業時間外学習 予習・復習
1 .	前期の復習(前期で学んだ事の再確認)	予習	: 前期を振り返る(30分) : 授業を振り返る(30分)
2 .		予習 <b>多習</b> 復習	:舞台機構を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
3 .	  綱元操作の復習 (舞台機構の再確認) 	予習 復習	: 舞台機構を調べる(30分) : 授業を振り返る(30分)
4 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	予習 復習	:舞台機構を調べる(30分) 3:授業を振り返る(30分)
5 .	舞台監督の役割について(円滑な運行の仕方・舞台予算についての説明) 	予習 <b>多習</b> 復習	:舞台監督を調べる(30分) 3:授業を振り返る(30分)
6 .		予習 <b>多習</b> 復習	:舞台監督を考える(30分) 3:授業を振り返る(30分)
7 .	舞台監督のしごと (スケジュールのプランニング、各スタッフの確認など)	予習 <b>多</b> 習	:舞台監督を考える(30分) :授業を振り返る(30分)
8 .	舞台監督のしごと (積載準備・運搬方法・搬入・仕込みなど)	予習 <b></b> 復習	:舞台監督を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
9 .	舞台監督のしごと (テクニカルリハーサル等について)	予習 復習	:舞台監督を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
10 .	卒業公演の大道具製作	予習 復習	:大道具を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
11 .	卒業公演の大道具製作	予習 復習	:大道具を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
12 .		予習 復習	:大道具を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
13 .	卒業公演の大道具製作	·····································	:大道具を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
14 .	卒業公演の大道具製作	予習 <b>多</b> 習	:大道具を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
15 .	  まとめ(後期の復習 ・ 振り返りと点検) 		:後期を振り返る(30分) :授業を振り返る(30分)
<b>教科書</b>		<b>I</b>	
考書	受講態度(50%)、授業内課題(50%) 作業用の革手袋の準備をお願いします。		
記りへざ頂	TF未用の半十老の牛)   TF   TF   TF   TF   TF   TF   TF   T		

科目	音響技術	開講時期履修方法	
担当者	穐田裕司	授業形態単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、音響のデジタル化に伴いデジタルミキサーやデジタル機器を使用し理使用技法を学ぶ。 使用技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学修成果(2)に対応する。	解し、学校で	での公演、その他での本番の
到達目標	学校での公演、その他での本番の使用を目指す。 授業での積極的な態度や活動を評価とする。		
学修成果の 評価基準	到達度確認テストを実施し評価する		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	アナログミキサーについて	しつに	:アナログミキサーの仕様 Nて調べる(30分) 復習:
2 .	デジタルミキサーについて	予習	容を振り返る (30分)   : 小劇場のデジタルミキサー  いて調べる (30分) 復習  大容を振り返る (30分)
3 .	デジタルミキサーについて	予習	: (130分) 引: その他のデジタルミキサ いいて調べる(30分) 復習 注内容を振り返る(30分)
4 .	デジタルミキサーについて	予習	]:その他のデジタルミキサ いハて調べる(30分) 復習 約容を振り返る(30分)
5 .	音源再生について 	調べ	習:CD、MDデッキについ る(30分) 復習:授業内 長り返る(30分)
6.	パソコンからの音出し 	フト 習:	: パソコンによる音源再生 トについて調べる(30分) 授業内容を振り返る(30分
7.	パソコンからの音出し 	フト 習:	: パソコンによる音源再生 ・について調べる(30分) ( 授業内容を振り返る(30分)
8 .	パソコンからの音出し	フト 習:	: パソコンによる音源再生 - について調べる(30分) - 授業内容を振り返る(30分
9.	パソコンからの音出し	フト 習:	: パソコンによる音源再生・について調べる(30分) 授業内容を振り返る(30分) - 授業内容を振り返る(30分
10 .	パソコンを使用しての録音方法について	て調 容を	: 録音波形編集ソフトにつ  べる(30分) 復習:授業  振り返る(30分)  : 録音波形編集ソフトにつ
11 .	パソコンを使用しての録音方法について 	て調 容を	i:球百版が編集ソフトにフリ ]べる(30分) 復習:授業 :振り返る(30分) ]:録音波形編集ソフトにつ
12 .	ハソコノを使用しての録音方法に Jいて 	て調 容を	に 球百波が編集ソフトにつ 別べる(30分) 復習:授業 振り返る(30分) 1:オーディオインターフェ
13 .	レコーティンツ 	スに 習:	」、オーディオインターフェ こついて調べる(30分) 復 授業内容を振り返る(30分 』:オーディオインターフェ
14 .		えた 習:	ついて調べる(30分) 復 授業内容を振り返る(30分
15 .	まとめ	(30	]: これまでの内容を振り返 ]分) ]: 本科目を振り返る(30分
教科書 	なし 		
参考書 学修成果の 評価方法	受講態度(40%)、授業内課題(30%)、その他【到達度テスト】(30%)		
記すべき	この科目の単位が取得できなければ、後期「音響技術 」は履修できない 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		

科目	音響技術	開講時期 履修方法	2 年後期 選択、専門科目
担当者	穐田裕司		1単位
授業概要	この授業では、音響ミキサーの使い方、音響仕込み図の見方を理解し実践に備ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学修成果(2)に対応する。	える事を目的として	音響オペレートの技法を学
到達目標	卒業公演等にてのオペレートを行えるレベルへの到達を目標とする。		
学修成果の 評価基準	実際に音響マイクオペレートを行い到達度確認テストを実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	波形編集	調へ	3:波形編集ソフトの使い方を さる(30分) 復習:授業内容 表り返る(30分)
2 .	波形編集	予 <b>習</b> 調	冒:波形編集ソフトの使い方を 、る(30分) 復習:授業内容
3 .	P A 実技	予習をす	表り返る(30分) 習:音響セッティングの段取り で、30分)(復習:授業内容 50~20~20~20~20~20~20~20~20~20~20~20~20~20
4 .	PA実技	予習をす	表り返る (30分) 3:音響セッティングの段取り 「る…音出しまで (30分) 復
5 .	PA実技	予習をする	授業内容を振り返る(30分) 3:音響セッティングの段取り 5。音出しまで(30分) 復 授業内容を振り返る(30分)
6 .	デジタルミキサーのパッチ方法	予習 30分	技業内台を振り返っ(30万)  習:ミキサーの操作を調べる(  }) 復習:授業内容を振り返   30分)
7 .	デジタルミキサーのシーンの活用	予習を調	3077) 引:ミキサーのシーンの使い方 掲べる(30分) 復習:授業内 E振り返る(30分)
8 .	内部エフェクターの使用方法	予習 べる	3: エフェクターの使い方を調 5 (30分) 復習:授業内容を 7返る(30分)
9.	EQでの調整方法	予 <b>習</b> 分)	温:EQの調整方法を調べる(30 復習:授業内容を振り返る 0分)
10 .	デジタルミキサーのまとめ	予習 使い	37 日分:現場におけるミキサーの 1方について調べる(30分) 日:授業内容を振り返る(30分
11 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	予習 につ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
12 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	予習 につ	3:実戦における音響の仕込み ひいて調べる(30分) 復習: 美内容を振り返る(30分)
13 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	予習 につ	3:実戦における音響の仕込み ひいて調べる(30分) 復習: 美内容を振り返る(30分)
14 .	仕込み図を見て実際に配線をしての実技	予習   る (	図: 音響の仕込み図を書いてみ (30分) 復習: 授業内容を振 (30分)
15 .	まとめ	予習 (3	30 (○○ハ) 図: これまでの内容を振り返る ○分) 復習:本科目を振り返 (30分)
教科書	なし		
参考書	なし		
評価方法	受講態度(40%)、授業内課題(30%)、その他【到達度テスト】(30%) 前期「音響技術」」履修者のみ受講可		
	則期「音響技術」」復修者のみ受講門   各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		

科 目	照明技術	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	基礎の復習。舞台照明に関する作業の実践。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	舞台照明における作業の流れを理解する。		
学修成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1.	基礎復習 機材の種類、照明演出効果について	30分	冒:舞台照明について調べる( )) 復習:授業内容ふりかえ 30分)
2.	基礎復習 仕込図、ケーブル、電気の知識、DMX信号について	予 <b>習</b> (30	: 照明仕込図について調べる 0分) 復習 : 授業内容ふりか   (30分)
3.	基礎復習 サスペンションライト吊込み、安全作業について	予習   る (	: 舞台照明設備について調べ 30分) 復習:授業内容ふり り(30分)
4 .	基礎復習 チャンネル表、パッチ、点灯チェックについて	予 <b>習</b> (30	』:調光操作卓について調べる ○分) 復習:授業内容ふりか ○(30分)
5 .	基礎復習 フォーカス、高所作業について	予習 30分	: 高所作業について調べる( 計) 復習:授業内容ふりかえ 30分)
6.	基礎復習 シーン記憶・再生・修正について	予習	:卓操作の確認(30分) 3:授業内容ふりかえり(30
7.	基礎復習 ムービングスポットライト、LED機器について	予習分)	: LEDについて調べる (30 復習:授業内容ふりかえり O分)
8.	夏公演~プランニング、キューシート作成		: 台本の確認(30分) : 授業内容ふりかえり(30
9.	夏公演~プランニングの共有	予習	: 台本の確認(30分) : 授業内容ふりかえり(30
10 .	夏公演~仕込図およびチャンネル表を読む	予習   分)	:仕込図について調べる(30 復習:授業内容ふりかえり D分)
11 .	夏公演~仕込み、パッチ、点灯チェック		: 仕込図の確認(30分) 3: 授業内容ふりかえり(30
12 .	夏公演~フォーカス		:仕込図の確認(30分) 3:授業内容ふりかえり(30
13 .	夏公演~明かりづくり(シーン記憶・再生・修正)	予 <b>習</b> 分)	: キューシートの確認 (30 復習:授業内容ふりかえり 0分)
14 .	夏公演~きっかけ合わせ		: きっかけの確認(30分) : 授業内容ふりかえり(30
15 .	夏公演~ふりかえり	予習分)	: 作業全般のふりかえり (30 復習:授業内容ふりかえり 0分)
教科書	なし		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
参考書	なし		
学修成果の 評価方法			
<u>事 項</u>	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相類 の 受 付	授業前後に授業場所にて受け付けます		

科目	照明技術	開講時期 履修方法	2 年後期 選択、専門科目
担当者	上	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	照明プランニングおよび、仕込みから撤去までの作業実践。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。	,	
到達目標	作業内容を理解し、操作することができる。		
学修成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	前期学習内容のふりかえり、今後の学習について	30 <del>/</del> 3	] : 前期での作業内容の確認( う) 復習: 授業内容ふりかえ 30分)
2 .	アンドワン公演~プランニング、キューシート作成		冒:台本の確認 (30分) 冒:授業内容ふりかえり (30
3.	アンドワン公演 ~ 仕込図およびチャンネル表を読む	予習 分)	3:キューシートの確認 (30 復習:授業内容ふりかえり 0分)
4 .	アンドワン公演 ~ フォーカス	予習 復習	3: 仕込図の確認(30分) 3: 授業内容ふりかえり(30
5.	  アンドワン公演~明かりづくり、きっかけ合わせ 		]: きっかけの確認(30分) ]: 授業内容ふりかえり(30
6.	  アンドワン公演~まとめ 	分)	3: 作業全般のふりかえり (30 , 復習:授業内容ふりかえり
7.	撤去作業、安全作業、機材メンテナンスについて	予習 30分	3分) 冒:安全作業について調べる( う) 復習:授業内容ふりかえ 30分)
8 .	ムービングスポットライト、LED機器について	予習分)	30分) 3: LEDについて調べる(30 復習:授業内容ふりかえり 0分)
9 .	   卒業公演 ~ プランニング 	予習	冒:台本の確認(30分) 習:授業内容ふりかえり(30
10 .	卒業公演~キューシート作成		冒:台本の確認 (30分) 冒:授業内容ふりかえり (30
11 .	卒業公演~仕込図を読み、チャンネル表を作る		3: 仕込図の確認(30分) 3: 授業内容ふりかえり(30
12 .	卒業公演~仕込み、パッチ、点灯チェック、フォーカス		習:仕込図の確認(30分) 習:授業内容ふりかえり(30
13 .		予 <b>習</b> 分)	3:キューシートの確認(30 復習:授業内容ふりかえり 0分)
14 .		予習 <b></b> 復習	]: きっかけの確認(30分) ]: 授業内容ふりかえり(30
15 .		分)	3:作業全般のふりかえり(30 復習:授業内容ふりかえり 0分)
教科書	なし	[ (3)	·/·
参考書	なし		
学修成果の 評 価 方 法	受講態度(50%)、授業内課題(50%)		
<u>事 頃</u>	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
	授業前後に授業場所にて受け付けます		

科目	舞台機構演習	開講時期 履修方法	
担当者	平井克樹	授業形態	演習 1単位
授業概要	舞台機構講習に向けての知識、技術の習得を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する		, . =
到達目標	舞台機構演習3級に向けての実技、筆記の習得を目的とする。		
学修成果の 評価基準	到達度確認テスト(3級問題集 実技 要素問題)を実施し評価する		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	過去の学科問題集の学習とポイント説明	││復習	アラス 1を自 図:過去問題を読む (30分) 図:今回の内容を振り返ります におく(30分)
2 .	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習 <b>多</b> 習 復習	智:過去問題を読む (30分) 習:今回の内容を振り返りま
3 .	実技試験の実習とポイント説明	구절	おく(30分) 習:過去問題を読む(30分) 習:今回の内容を振り返りま 「おく(30分)
4 .	過去の学科問題集の学習とポイント説明	- 予習 - 一 一	習:過去問題を読む (30分) 習:間違えた個所を確認し理!
5 .	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習 (30:	5(30分) 冒:楽器の音と形を確認する 分) 復習:間違えた個所を研究する
6 .	実技試験の実習とポイント説明	予習 0分	√理解する(30分) 習:実技試験の段取りを確認( ) 復習:上手く行かなかった ↑を反復練習(30分)
7.	過去の学科問題集の学習とポイント説明	予習   復習	と
8 .	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習 (30	7,00/1/ 習:楽器の音と形を確認する 0分) 復習:間違えた個所を 図し理解する(30分)
9 .	実技試験の実習とポイント説明	予習 0分	30 生解する(5007) 習:実技試験の段取りを確認 ) 復習:上手く行かなかった 「を反復練習(30分)
10 .	学科模擬試験と復習	予習を表現します。	留:過去問題を読む (30分) 習:間違えた個所を確認し理 5(30分)
11 .	学科模擬試験と復習	予習 <b> </b>	留:過去問題を読む (30分) 習:間違えた個所を確認し理 5(30分)
12 .	要素試験の模擬テストと復習	予習 (30:	3:楽器の音と形を確認する 分) 復習:間違えた個所を码 √理解する(30分)
13 .	要素試験の模擬テストと復習	予習 (30:	3:楽器の音と形を確認する 分) 復習:間違えた個所を码 理解する(30分)
14 .	実技模擬試験と復習	予習 0分	習:実技試験の段取りを確認( ) 復習:上手く行かなかった 「を反復練習(30分)
15 .	実技模擬試験と復習 重要ポイントの再確認	予習 (30:	置:実技要素の内容を振り返る 分) 復習:上手く行かなか 固所を反復練習(30分)
教科書	舞台機構調整技能検定3級試験問題集	1.3"	
参考書	舞台機構調整技能検定3級試験問題集		
学修成果の 評価方法	受講態度(20%)、小テスト(50%)、授業内課題(30%)		
	授業内容の反復練習を行う。		
プログラス でである。 おいまでは、 これでは、これでは、 これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、			

			2年前期
科   目 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		選択、専門科目
担当者	日下部信	授業形態 単位数	
授業概要	演劇マインドや表現技術を高め、集団や社会に適応する力、関わり合う力を培います。 主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(7)に対応する。	閉します。	
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、 柔軟かつ応用性のある表現力とコミュニケーション力を習得できる。 また、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学修成果の 評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。 「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」にお	いて評価で	する。
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	イントロダクション/学びのねらいと進め方について	)	3:シラバスを見ておく(2時間 復習:ルーティーンワークを 解する(2時間)
2 .	ワーク「モーニングページ」と心理的効果	予 引 う(:	3:習慣化できる工夫をおこな 2時間) 復習:授業内容を振 える(2時間)
3 .	コミュニケーション力の段階的発達 1 コミュニケーションレベル・対話の種類(応用Vr.)	'e 予習 べる	望:意思疎通の意味について調 ら(2時間) 復習:授業内容を り返る(2時間)
4 .	コミュニケーション力の段階的発達 2 DVD視聴	予型 時間	留:人間関係の特徴を捉える(2間) 復習:授業内容を振り返2時間)
5.	演劇ワーク「教育格言」から生きる言葉を獲得する	予2 時間	3:好きな格言を選んでおく(2 間) 復習:授業内容を振り返 2時間)
6.	演劇ワーク「クルーザー物語」から多様な解釈を受容する	予習	習:配布資料を読んでおく。 習:授業内容を振り返る(2時間
7.	演劇ワーク「文学賞審査会」から他者の価値観に触れる	予 1 1 1 2時	習:配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る( 間)
8 .	グループワークトレーニングにおける考察・感覚の優位が分かる	予 間) 2時	習:配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る( 間)
9 .	演劇における自己肯定感と自尊感情を理解する	る(	冒:自信を持てる領域を確かめ 2時間) 復習:授業内容を振 る(2時間)
10 .	K J法を用いた演劇力の考察と社会適用その 1	予習 間) 2時	習:配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る( 間)
11 .	K J法を用いた演劇力の考察と社会適用その 2	めて	冒:グループで得た結論をまと □おく(2時間) 復習:授業内 ☑振り返る(2時間)
12 .	主張の的を立てるその1(メール∀er.)		3:役割の種類をまとめる(2時 復習:授業内容を振り返る( 間)
13 .	主張の的を立てるその2(履歴書Ver.)	予習 る()	習:文章の組み立てを考えてみ 2時間) 復習:授業内容を振 える(2時間)
14 .	演劇における自己有用感と肯定的価値について	予習	3:配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る(
15 .	知識と学習のまとめ	予型 (2時	3: これまでの内容を振り返る 時間) 復習:レポートにまと 5(2時間)
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書	□ 芸能庁(5004) □ 副達庁政部ニフト(5004)		
評価方法	受講態度(50%)、到達度確認テスト(50%)   劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
事項			
質可・相談等の 受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

<u>-</u>		開講時期	2 年後期
科目	シアターコミュニケーション論 	履修方法	選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	演劇マインドや表現技術を深め、人や社会に適応する力、関わり合う力を培います。 主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを原本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(7)に対応する。	展開します。	
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、柔軟かつ応用性のあるコミュニケーション、また、人の思いや価値観を受けとめることができる。	力を習得でき	₹ వ .
学修成果の 評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。 「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」に	おいて評価で	する。
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	イントロダクション / 学びのねらいと進め方について	1) 1	日:シラバスを見ておく(2時間 复習:ルーティーンワークを はする(2時間)
2 .	スピーチにおける「内容と伝達技術」構造を捉える ノンバーバルコミュニケーションの活用	予習	:原稿を準備する(2時間) :授業内容を振り返る(2時間
3 .	声のベクトルと送受信を体験的に理解する	間)	: 声かけの言葉を考える(2時 復習:積極的に応用してみ 2時間)
4 .	声と表情の関係性について考察する	予習	: 自分の表情を確認する(2時 復習:授業内容を振り返る(
5.	グループワークにおける協力構造を理解する	予 <b>習</b> (2時	3)  : 身近な存在の物に注目する  間  復習:授業内容を振り  (2時間)
6 .	人物観察とステイタスの共通性を捉える	予習	: 配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る(
7.	「サマータイムマシーンブルース」から過去・現在・未来を捉える	予習	: 配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る(
8.	企画書スキームを用いて企画を作り出す 1	予習 る(2	⇒/.  :日常の企画についてまとめ 2時間) 復習:授業内容を振 る(2時間)
9.	企画書スキームを用いて企画を作り出す2	予習	:資料を読んでおく(2時間) 習:授業内容を振り返る(2時
10 .	意志力について考察その1「やる力・やらない力・望む力」	予習 (2時	: 自己の意志力を記しておく 間) 復習:授業内容を振り (2時間)
11 .	意志力について考察その2「モラルライセンシング他」	予習時間	、三のス/  :意志力の特性を理解する(2  ) 復習:授業内容を振り返  2時間)
12 .	子どもの発達段階における演劇について(ゲスト講師)		: 配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る(
13 .	仏教的視座に基づく表現性について(ゲスト講師)	予習	: 配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る(
14 .	心の健康と心理ケアについて(ゲスト講師)		: 配布資料を読んでおく(2時 復習:授業内容を振り返る(
15 .	知識と学習のまとめ	予習	: 今までの学びを挙げる(2時 復習:授業内容を振り返る(
教科書	必要に応じてプリント配布		,
参考書	ケリー・マクゴニカル著『「スタンフォードの自分を変える教室』(だいわ文庫)		
学修成果の 評価方法	受講態度(50%)、到達度確認テスト(50%)		
	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

科目		開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的 俳優の道へ進むために何が必要かを考え、稽古を重ねます。 また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	りとします。	
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学修成果の 評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、 授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	イントロダクション / 学びのねらいと進め方について	(30)	1:卒業後の進路を考えておく分) 復習:一年間の計画を立 (30分)
2 .	自己PRの検討と目標設定		:自己PRの内容を考える(3 ) 復習:変更箇所を修正する
3 .	身体トレーニングと発声練習	予習 分)	3. 3.健康管理の著書を読む(30 復習:ルーティーンを決め 30分)
4 .	緊張と緩和のコントロール		: 丹田について理解する(30 復習:授業内容を振り返る(
5 .	演劇ワーク「ストーリーづくり」演技編	予習 0分)	: ストーリーの意味を知る(3
6 .	演劇ワーク「演技連鎖」場面描写編	予習 (30)	: ロエロ にある (0007)  : ウォーミングアップの準備 分) 復習:苦手な動きの確認  -る(30分)
7.	エチュード(即興)「状況・出来事・結果」展開編	予習	: 事前に作らずリラックスす 30分) 復習:課題の原因を明 する(30分)
8.	ドラマ解読その1「葛藤と対立の正体」揺さぶり編	予習	:配布テキストを読む(30分)  :授業内容を振り返る(30分)
9.	ドラマ解読その2「影響を受ける受けない」相互関係編		: 三原則を再確認する(30分)   : 授業内容を振り返る(30分)
10 .	ドラマ解読その3「フィクションのリアル」突き抜け編	(30:	: フィクションの意味を知る 分) : 授業内容を振り返る(30分)
11 .	エチュード「状況変化」迅速対応編	分)	: 予想外の事を抽出する(30 : 授業内容を振り返る(30分)
12 .	感情表現「愉快・喜び」パーティー場面	予習 分)	: 気分の変化を記録する(30 : 授業内容を振り返る(30分)
13 .	感情表現「怒り・悲しみ」闘争場面	予習 プ(3	: 声と体のウォーミングアッ 30分) : 授業内容を振り返る(30分)
14 .	感情表現「愛しさ・尊さ」カタルシス場面	予習 (30)	: カタルシスの意味に触れる
15 .	知識と学習のまとめ/小発表	予習 0分)	:半期を振り返りまとめる(3
教科書	台本・台詞原稿を配布する。	1 '~ -	
参考書			
評価方法	受講態度(50%)、授業内成果発表(50%)		
事 項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・椎類の 受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

<u>-</u>		開講時期	2 年後期
科 目	表現技法 A -		選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的 俳優の道を進むために何が必要かを考え稽古を重ねます。 また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	りとします。	0
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学修成果の 評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、 授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	イントロダクション / 自己 P R の点検と目標の見直し設定をおこなう	をま	3: 卒業後の進路について進捗 とめる(30分) 復習:半年間 十回を見直す(30分)
2 .		予習 分)	冒:必要なレッスンの把握(30
3 .	マイム「合格発表」	予習	3:授業内容を振り返る(30分) 3:参考資料に目を通す(30分) 3:授業内容を振り返る(30分)
4 .	マイム「再会」	予習 復習	:参考資料に目を通す(30分) :授業内容を振り返る(30分)
5 .	マイム「勘違い」	·····································	3:参考資料に目を通す(30分) 3:授業内容を振り返る(30分)
6.	シーンスタディー1「ふたりの場面」聞いて反応する	予習 復習	習:参考資料に目を通す(30分) 図:授業内容を振り返る(30分)
7.	シーンスタディー 2 「 3 人の場面」聞いて反応する	予習 復習	:参考資料に目を通す(30分) 3:授業内容を振り返る(30分)
8 .	シーンスタディー 3 「静かな場面」目的の設定をおこなう	予習 復習	: 参考資料に目を通す(30分) : 授業内容を振り返る(30分)
9.	シーンスタディー4「激しい場面」葛藤の動力を持つ	予習 復習	3:参考資料に目を通す(30分) 3:授業内容を振り返る(30分)
10 .	シーンスタディー 5 「感動的な場面」心の状態を見る	予習 復習	日:参考資料に目を通す(30分) 日:授業内容を振り返る(30分)
11 .	短編戯曲を読む、読み合わせする	予習 復習	3:台本をつくる(30分) 3:セリフを覚える(30分)
12 .	芝居をつくる、話し合う	予習 復習 分)	3:セリフを確かめる(30分) 3:ひとつアイデアを足す(30
13 .	衣装・小道具を準備し、リハーサルをおこなう	予習 0分	3: 衣装・小道具を手配する(3 ) 3: 授業内容を振り返る(30分)
14 .	小劇場で上演する	予習 (30:	冒:セリフと動きの確認をする 分)
15 .	  知識と学習のまとめ / 輪組み 	予習	:映像を確認する(30分) : これまでの振り返り(30分) : 授業内容を振り返る(30分)
教科書	台本・台詞原稿を配布する。	I	
参考書	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
評価方法	受講態度(50%)、授業内成果発表(50%)		
事 項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等の 受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

科目	表現技法 B -	開講時期履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠		演習 1単位
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路(声優)に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	·	
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学修成果 <i>0</i> 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	自己PR作成	事務	後の進路を考えておく 所・養成所研究 習・復習各30分)
2 .	自己PR作成	卒業 事務	7自・18自日30万) 5後の進路を考えておく 3所・養成所研究 5習・復習各30分)
3 .	自己PR作成	卒業 事務	: 慢
4 .	自己PR作成	卒業 事務	(最高 1307) (後の進路を考えておく 所・養成所研究 ・習・復習各30分)
5 .	模擬面接	卒業 事務	(自 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
6 .	模擬面接	卒業 事務	
7 .	ナレーション課題	原稿	音を読んでおく で習・復習各30分)
8 .	ナレーション課題	原稿(予	高を読んでおく 7習・復習各30分)
9 .	ナレーション課題	原稿(予	るで読んでおく で習・復習各30分)
10 .	ナレーション課題	原稿(予	るを読んでおく で習・復習各30分)
11 .	台詞課題	プラ (予	ランを考えておく 7習・復習各30分)
12 .	台詞課題	プラ (予	シンを考えておく 3習・復習各30分)
13 .	台詞課題	プラ (予	・ンを考えておく ・習・復習各30分)
14 .	台詞課題	プラ	ランを考えておく 5習・復習各30分)
15 .	まとめ	振じ (子	)返り 7習・復習各30分)
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学修成果の評価方法			
特記すべき事項			
賀問・相類 の 受 付			

科目	表現技法B-		2年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路(声優)に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	•	
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学修成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合的に評価する。	'o	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習
1 .	ボイスサンプル研究	9 🔻	予 <mark>習・復習</mark> アス法の研究・実践 予習・復習各30分)
2 .	   ボイスサンプル研究 	9 \	7ス法の研究・実践 5習・復習各30分)
3.	ボイスサンプル研究	9 <del>-</del> ( †	マス法の研究・実践 ・名とでである。 ・復習各30分)
4 .	ボイスサンプル研究	9 ¥	イス法の研究・実践 5習・復習各30分)
5.	ボイスサンプル研究	9 ¥	7ス法の研究・実践 5習・復習各30分)
6.	ボイスサンプル研究	9 <del>-</del> ( <del>1</del>	?ス法の研究・実践 <sup>5</sup> 習・復習各30分)
7.	ボイスサンプル研究	9 <del>V</del>	?ス法の研究・実践 <sup>5</sup> 習・復習各30分)
8.	ボイスサンプル研究	9 <del>-</del> ( <del>1</del>	アス法の研究・実践 ・ででである。 アストラス (2015)
9.	ボイスサンプル作成	9 <del>V</del>	アス法の結果をまとめる 予習・復習各30分)
10 .	ボイスサンプル作成	9 <del>-</del> ( <del>1</del>	7ス法の結果をまとめる <sup>5</sup> 習・復習各30分)
11 .	ボイスサンプル作成	9 <del>-</del> ( <del>1</del>	アス法の結果をまとめる 予習・復習各30分)
12 .	ボイスサンプル作成	9 <del>V</del>	アス法の 予習・復習各30分)
13 .	ボイスサンプル作成	9 <del>-</del> ( †	7ス法の結果をまとめる 予習・復習各30分)
14 .	ボイスサンプル作成	9 🤻	?ス法の結果をまとめる 予習・復習各30分)
15 .	まとめ	振じ(予	)返り 7習・復習各30分)
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度(40%)、授業内成果発表(60%)		
事 項	声優として多数の作品に出演		
聞・椎り の 受 付			

科目	表現技法 С -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	   授業形態   単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から楽曲と戯曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	る。現代ミ	- ニュージカルの基礎表現を学
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、路	的、自由に	に演じる事が出来る。
学修成果の 評価基準	一人づつ、またはグループで発表を行う 音楽のイメージを自由に表現出来る 音楽を感じ肉体表現が出来る 感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	自分の身体、声質を知る。	発声(予	J <sup>*</sup> 白 * 1を自     複数
2 .	自分の声質にあった発声法を学ぶ。	·····································	なトレーニングと発声練習 予習30分・復習30分)
3 .	ソロのミュージカル歌曲を譜読みをし、楽曲の構成を知る。その 1	1 1 2 2	タトレーニングと発声練習 1の歌曲を覚える ・習30分・復習30分)
4 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その2	呼吸	は 1007 (2007)
5 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その3	呼吸	1月30分 (2007) 日本 日本 日
6 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その4 演技から、音楽を呼び込み、俳優としての歌曲を表現する。	呼吸	1930万 (後日30万) カトレーニングと発声練習 1の歌曲を稽古 5習30分・復習30分)
7 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その5 演技から、音楽を呼び込み、俳優としての歌曲を表現する。	呼吸デコ	サイス (1997) (19
8.	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みし、楽曲のj構成を知る。その1	呼吸デコ	サイス (1997) (19
9 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その2	呼吸	日30万 (度日30万) 3トレーニングと発声練習 1エッット曲を稽古 5習30分・復習30分)
10 .	デュエットのミュージカル歌曲を発表する。その3	呼吸	ストレーニングと発声練習 ルエット曲を稽古 ・智30分・復習30分)
11 .	デュエットのミュージカル歌曲を発表する。その4 演技から、音楽を呼び込み、俳優として相手を感じながら歌曲を表現する。	呼吸アン	日30万
12 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その 1 時代背景を調べ、演技に必要な情報を、歌曲に重ねる。	呼吸アン	は
13 .	アンサンプルのミュージカル歌曲を稽古する。その 2 演技から、音楽を呼び込み、俳優として相手を感じながら歌曲を表現する。	呼吸アン	は
14 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を発表する。その 3 小作品を作り発表する。	呼吸アン	リーニングと発声練習 サンブル曲を稽古 ・智30分・復習30分)
15 .	まとめ。	呼呀	サレーニングと発声練習 予習30分・復習30分)
教科書	プリントを配布する。		
<b>多</b> 写盲	なし。		
评価方法	授業内発表(70%)、受講態度(30%)		
記すべき     項	1987年~2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		

科目	表現技法C -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から楽曲と戯曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じぶ。 ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	る。現代ミ	ュージカルの基礎表現を学
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、踊	的、自由は	<b>二演じる事が出来る。</b>
学修成果の 評価基準	一人づつ、またはグループで発表を行う 音楽のイメージを自由に表現出来る 音楽を感じ肉体表現が出来る 感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	自分の身体、声質を知る。	発声 (予	5練習 ・習30分・復習30分)
2 .	自分の声室にあった発声法を学ぶ。	呼吸(予	トレーニングと発声練習 習30分・復習30分)
3 .	ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。	ソロ	(トレーニングと発声練習  の歌曲を覚える  習30分・復習30分)
4.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸	はトレーニングと発声練習  の歌曲を稽古  習30分・復習30分)
5.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸	1930分 18目30分) カトレーニングと発声練習 1の歌曲を稽古 17330分・復習30分)
6 .	ソロのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸ソロ	で自30分で後目30分) カトレーニングと発声練習 1の歌曲を稽古 で習30分・復習30分)
7 .	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸デコ	15007
8.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸デコ	10007 (2007) カースター (2007)
9 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸	ロックス (2007) オトレーニングと発声練習 エッット曲を稽古 1230分・復習30分)
10 .	デュエットのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸	カトレーニングと発声練習 エット曲を稽古 習30分・復習30分)
11 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸アン	サンプルロングと発声練習 サンブル曲を稽古 1730分・復習30分)
12 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸アン	はトレーニングと発声練習 サンブル曲を稽古 で30分・復習30分)
13 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸アン	1007   1007
14 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸アン	15007   復日3077   カトレーニングと発声練習 カサンブル曲を稽古 で習30分・復習30分)
15 .	まとめ。	呼呀	150分 (2007) カトレーニングと発声練習 で習30分・復習30分)
教科書	プリントを配布する。		
参考書	なし。		
学修成果の 評価方法	授業内発表(70%)、受講態度(30%)		
H. III	1987年~2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
3	常時受け付ける		

科目	表現技法D-	開講時期履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	TIM	· 1 toda
到達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
学修成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果で評価をします。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	講義内容の説明・オリエンテーション(授業スケジュールの確認等)	予習 復習	: シラバスを読む(30分) : 授業を振り返る(30分)
2 .	  個人面談 (自己分析・自己表現・プロフィールの研究・進路について考える) 	予習	:進路を考える(30分) :授業を振り返る(30分)
3 .	履歴書について(履歴書の説明~作成~保管~発送方法など)	予習 復習	:履歴書を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
4 .	Web Entryについて(エントリーシート・自己PR・顔写真など)	予習 復習	: Entryを調べる(30分) : 授業を振り返る(30分)
5 .	模擬面接(実際の面接を想定する)	予習	: 面接を調べる(30分) 3:授業を振り返る(30分)
6.	映像プレゼンテーション(パソコンとプロジェクター接続、スマホと液晶モニター接続 ど)	な 予習 復習	:映像関係を調べる(30分) 3:授業を振り返る(30分)
7.	舞台模型 (小劇場)を製作する。	予習 復習	:舞台模型を考える(30分) 記:授業を振り返る(30分)
8.	舞台模型 (小劇場)を製作する。	予習 復習	日:舞台模型を考える(30分) 日:授業を振り返る(30分)
9.	舞台模型 (小劇場)を製作する。	予習 復習	:舞台模型を考える(30分) :授業を振り返る(30分)
10 .	グローバルコミュニケーション(コミュニケーション・外国人との交流について)	予習 復習	3:交流を調べる(30分) 3:授業を振り返る(30分)
11 .	個人面談 (自己分析・進路について考える)	予習	:進路を考える(30分) :授業を振り返る(30分)
12 .	スマートフォン,タブレットのアプリケーションについて(Goodnotes)	予習	:アプリを調べる(30分) 3:授業を振り返る(30分)
13 .	パソコンについて(Office Word、Excel、Power Point)	予習	: オフィスを調べる(30分) : 授業を振り返る(30分)
14 .	パソコンについて(図面作成ソフト Vector Works)	予習	:図面作成を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
15 .	前期のまとめ	予習 復習	:前期を振り返る(30分) :授業を振り返る(30分)
教科書			
参考書 学修成果の	受講態度(50%)、授業内課題(50%)		
<u>評価方法</u> 特記すべき	文明/恋友(500 / √ 1又未13 所及(50 / )		
事 項	   質問・相談は授業の前後に受け付ける		

科目	表現技法D-	開講時期履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。	11220	
削達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
华修成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果で評価をします。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	前期の復習	復習 復習	: 前期を振り返る(30分) : 授業を振り返る(30分)
2 .	  個人面談 (自己分析・進路について考える) 	·····································	:進路を考える(30分)  :授業を振り返る(30分)
3 .	模擬面接 (面接を想定してみる)	復習 復習	:面接を考える(30分) :授業を振り返る(30分)
4 .	模擬面接 (オンライン面接を想定してみる)	復習 復習	:面接を考える(30分) :授業を振り返る(30分)
5.	舞台模型 (講堂)を作製する。	復 <b>習</b> 復習	:舞台模型を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
6 .	舞台模型 (講堂)を作製する。	予習 復習	: 舞台模型を考える(30分)   : 授業を振り返る (30分)
7.	舞台模型 (講堂)を作製する。	復習 復習	: 舞台模型を考える(30分) : 授業を振り返る(30分)
8.	舞台模型 (講堂)を作製する。	復習 復習	: 舞台模型を調べる(30分)   : 授業を振り返る(30分)
9 .	舞台模型 (講堂)を作製する。	復習 復習	:舞台模型を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
10 .	グローバルコミュニケーション(コミュニケーション・外国人との交流について)	復習 復習	: 交流を調べる(30分)  : 授業を振り返る(30分)
11 .	個人面談 (自己分析・進路について考える)	予習	:進路を考える(30分)  :授業を振り返る(30分)
12 .	スマートフォン、タブレッドのアプリケーション(Goodnotes)	予習	:アプリを調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
13 .	パソコンについて(Office Word、Excel、Power Point)	予習	:オフィスを調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
14 .	パソコンについて(図面作成ソフト Vector Works)	予翟 復翟	:図面作成を調べる(30分) :授業を振り返る(30分)
15 .		·····································	:後期を振り返り(30分) :授業を振り返る(30分)
教科書			
参考書 修成果の 呼価方法 記すべき	受講態度(50%)、授業内課題(50%)		
項	質問・相談は授業の前後に受け付ける		

科目	舞台演習発展	開講時期履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する。		
到達目標	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現	が出来る。	<b>こうになる。</b>
学修成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する 評価は都度フィードバックしていく。	00	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	戯曲の本読み	戯曲	<u>ア首・復首</u> の理解 習・復習各30分)
2 .	<u></u> 戯曲の本読み		
3 .	戯曲の本読み	戯曲(子	の理解   ででである
4 .	戯曲の本読み	戯曲(子	の理解  ででは できます
5 .	戯曲の本読み	演技	プラン作成 習・復習各30分)
6.	戯曲の本読み	演技	プラン作成 習・復習各30分)
7.	戯曲の本読み	演技(予	プラン作成 習・復習各30分)
8 .	戯曲の本読み	演技(子	プラン作成 - 習・復習各30分)
9.	戯曲の本読み	演技(子	プラン作成 - 習・復習各30分)
10 .	戯曲の本読み	演技	プラン作成 習・復習各30分)
11 .	芝居稽古	ミサ	・ストレッチ ジスの確認 習・復習各30分)
12 .	芝居稽古	発声	・ストレッチ ジンスの確認 習・復習各30分)
13 .	芝居稽古	発声	・ストレッチ ジスの確認 習・復習各30分)
14 .	芝居稽古	発声	・ストレッチ ジスの確認 習・復習各30分)
15 .	芝居稽古	発声	・ストレッチ ジスの確認 習・復習各30分)
教科書	上演台本	1 ` `	•
参考書	上演台本		
学修成果の 評 価 方 法	受講態度(50%)、成果発表(50%)		
特記すべき事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・椎類 の 受 付			

科	舞台演習発展	開講時期	2 年前期 選択、専門科目
		復修力法       授業形態	
担当者	植木 誠 2年次夏公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。	単位数	
授業概	本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する。 		
到達目	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現	視が出来る。	<b>にうになる。</b>
学修成果評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価す 評価は都度フィードバックしていく。	<b>ర</b> .	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
16	芝居稽古   芝居稽古	発声	<u>ア首・侵首</u> ・ストレッチ ・ンスの確認 ・習・復習各30分)
17		発走	·習・復習各30分) ・ストレッチ ・ンスの確認 ·習・復習各30分)
18	芝居稽古 	発声	・ストレッチ シスの確認 習・復習各30分)
19	芝居稽古	発声	・ストレッチ ンスの確認 習・復習各30分)
20.	芝居稽古	ミサ	・ストレッチ ジスの確認 習・復習各30分)
21	芝居稽古	5 +	・ストレッチ ジスの確認 習・復習各30分)
22	芝居稽古	ミサ	・ストレッチ ンスの確認 習・復習各30分)
23	芝居稽古       .	発声 ダメ (子	・ストレッチ ・出しの確認 ・習・復習各30分)
24	芝居稽古       .	発声 ダメ (子	・ストレッチ 出しの確認 習・復習各30分)
25		発声 ダメ (予	・ストレッチ 出しの確認 習・復習各30分)
26		ダメ	・ストレッチ 出しの確認 習・復習各30分)
27		ダメ	・ストレッチ 出しの確認 習・復習各30分)
28		ダメ	・ストレッチ 出しの確認 習・復習各30分)
29		発声 ダメ (子	・ストレッチ 出しの確認 習・復習各30分)
30	芝居稽古20	振り(予	返り 習・復習各30分)
教科書		•	
参考書			
学修成果評価方			
特記すべ 事 質問・相談	頁		
の受	· [7]		

科目		開講時期 履修方法	2 年後期 選択、専門科目		
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位		
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇表現コースドの学修成果(6)に対応する。				
到達目標	ミュージカルの上演を通じて、集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、自	己表現の名	<b>体質を掴む。</b>		
学修成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 ・公演に向けて明確な目標を立てる。 ・仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 ・自由な発想で表現することが出来る。 ・演出家の意図を汲み表現することが出来る。 ・演出家の意図を汲み表現することが出来る。	「る。			
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習		
1 .	戯曲の本読み	戯曲(予	<u> </u>		
2 .	戯曲の本読み	 戯曲 (子	日の理解 予習30分・復習30分)		
3 .	戯曲の本読み	 戯曲 (予	日の理解 予習30分・復習30分)		
4 .	戯曲の本読み	演技 (子	もプラン作成 ・習30分・復習30分)		
5.	戯曲の本読み	演技(予	5プラン作成 5習30分・復習30分)		
6 .	戯曲の本読み	演技	もプラン作成 ・習30分・復習30分)		
7.	歌唱稽古	発声(子	・譜読み 予習30分・復習30分)		
8 .	歌唱稽古	発声(予	・譜読み 5習30分・復習30分)		
9.	歌唱稽古	発声(予	・譜読み <sup>3</sup> 30分・復習30分)		
10 .	歌唱稽古	発声(予	・譜読み 5習30分・復習30分)		
11 .	歌唱稽古	発声(予	・譜読み 5習30分・復習30分)		
12 .	歌唱稽古	発声(子	・譜読み 予習30分・復習30分)		
13 .	歌唱稽古	発声(予	・譜読み ・習30分・復習30分)		
14 .	歌唱稽古	発声	・譜読み ・習30分・復習30分)		
15 .	歌唱稽古	発声(予	・譜読み 5習30分・復習30分)		
教科書	上演台本				
参考書	授業態度(50%)、公演目標達成度(50%)				
	1987年~2017年東京で俳優、演出家として多数のミュージカル作品に出演、演出。				
特記すべき 事 項 質問・相談等 の 受 付					

科目	舞台総合	開講時期 履修方法	2 年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
	  二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。  時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッ   礎を築く。		
受業概要	本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。 		
<b>川達目標</b>	ミュージカルの上演を通じて集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、	自己表現の本質	<b>复を掴む。</b>
を修成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 ・公演に向けて明確な目標を立てる。 ・仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 ・自由な発想で表現することが出来る。 ・演出家の意図を汲み表現することが出来る。 100点満点中60点以上を評価基	準とする。	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習
16 .	振り稽古	発声	<b>予習・復習</b> i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
17 .	振り稽古		習30分・復習30分)  i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
18 .	   振り稽古		i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
19 .	振り稽古		i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
20.	振り稽古		・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
21 .	振り稽古	発声(予	i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
22 .	歌唱とダンス稽古	発声 (予	i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
23 .	歌唱とダンス稽古	発声 (予	i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
24 .	歌唱とダンス稽古 	発声 ( 予	i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
25 .	歌唱とダンス稽古 		i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
26 .	歌唱とダンス稽古	発声 (予	i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
27 .	歌唱とダンス稽古	一	・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
28 .	歌唱とダンス稽古	(予	i・ウォーミングアップ ·習30分・復習30分)
29 .	歌唱とダンス稽古	(予	i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
30 .	歌唱とダンス稽古		i・ウォーミングアップ 習30分・復習30分)
教科書 	上演台本 		
	授業態度(50%)、公演目標達成度(50%)		
<u>『価方法</u> 記すべき	1987年~2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
頭 ###	   随時可		

科	目	絵本論		2年後期 選択、専門科目
担当	者	梅野智美	授業形態 単位数	  講義  2単位
授業相	既要	絵本を通して、その人のありのままの自分を引き出すことを目的とする。 分の本当の気持ちや意思を見つめ直し気持ちを前向きにする手法をグルー 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(5)に対応する。	お互いの意見を交換した - プディスカッションをì	ながら心の交流を通して、自 通して学ぶ。
到達目	目標	絵本を、同じ人から同じ場所で同じように読み聞かせてもらい、それぞれにある思考や感情を省察することで、絵本を自分で読む場合と他人からまが見から高齢者まで幅広い年齢層に語りかける読書であることを絵本せま	れの受け取り方・感じ方 売んでもらう場合の違い? ラピーを通して体感でき	が違うことを学ぶ。人間の内 を実体験する。更に、絵本は るようになる。
学修成評価基	果の基準	授業内での積極的なグループディスカッションを「受講態度」の評価とて	する。及び、絵本セラピ	一の実践も評価基準とする。
		授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1		絵本とは		3:絵本について考える(25 )
2		なぜ大人に絵本を読むのか	予 [ ( 2	図: 授業を振り返る(2時間 図: 大人と絵本について考え 時間)
3	•	絵本セラピーを体験する(1)	予 <b>章</b> (2	習:授業を振り返る(2時間 習:大人と絵本について考え 時間) 習:授業を振り返る(2時間
4	•	絵本セラピーを体験する(2)	予 1 (2	3 : 大人と絵本について考え 時間) 3 : 授業を振り返る(2時間
5	•	絵本セラピーのプログラムについて(1)	予覧   む	習:多様なジャンルの絵本 <mark>を</mark> ( 2時間))
6	•	絵本セラピーのプログラムについて(2)	予   む	望:授業を振り返る(2時間 望:多様なジャンルの絵本を (2時間) 望:授業を振り返る(2時間
7	•	絵本力(ストーリー・ことば・絵・絵本を選ぶ力・読み方・表現方法)	予覧   む	3:多様なジャンルの絵本を ( 2時間 ) 3:授業を振り返る(2時間
8	•	絵本の読み聞かせについて	予 2 1 2 1	3:絵本の読み聞かせの練習 間) 3:授業を振り返る(2時間
9	•	絵本セラピーのプログラム作成(絵本の選定)	予覧   む	ョ・スペー派ンと (
10	•	絵本セラピーのプログラム作成(三部構成)	予覧した。	習:多様なジャンルの絵本を (2時間) 3:授業を振り返る(2時間
11	•	絵本セラピーの実践(1)	予     を	望:絵本セラピーのプログラ 考える (2時間 ) 3:授業を振り返る (2時間
12	•	絵本セラピーの実践(2)	予     を	習:絵本セラピーのプログラ 考える(2時間) 3:授業を振り返る(2時間
13	•	絵本セラピーの実践(3)	予     を	ュース架 と
14	•	絵本セラピーの実践(4)	予覧を	3:絵本セラピーのプログラ 号える(2時間) 3:授業を振り返る(2時間
15	•	まとめ	予 2 時	ョ・10米と100000 (25000) 習:今までの学びを振り返る 間) 習:授業を振り返る(2時間
教科	書	なし	1.2.	
参考		『絵本はこころの処方箋 大人のための絵本セラピー』岡田達信(瑞雲舎)、『絵	*本はこころの架け橋』岡田 	達信(瑞雲舎)
		受講態度(20%)、授業内課題(20%)、授業内発表(60%)		
で価プ		担当者は絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		

科目	卒業研究	開講時期 履修方法	2 年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	· 授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋げ、本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する。		
到達目標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身に	つける。	
学修成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	公演概要の説明	配有(予	プ <u>ロ・1を目</u> 5プリントを読んでおく <sup>5</sup> 習・復習各30分)
2 .	キャストオーディション	配有 ( う	5プリントを読んでおく 5習・復習各30分)
3 .	本読み	台本(予	なを読んでおく 5習・復習各30分)
4 .	本読み	台 <b>4</b> ( <del>1</del>	sを読んでおく <sup>5</sup> 習・復習各30分)
5 .	本読み	台本(予	なを読んでお 5習・復習各30分)
6 .	立ち稽古	台本(予	なを読んでおく 5習・復習各30分)
7.	立ち稽古		引を覚える <sup>5</sup> 習・復習各30分)
8.	立ち稽古	台記	引を覚える <sup>5</sup> 習・復習各30分)
9.	立ち稽古	台訂(予	月を覚える <sup>5</sup> 習・復習各30分)
10 .	立ち稽古	台訂(予	月を覚える <sup>5</sup> 習・復習各30分)
11 .	立ち稽古	台部(予	月を覚える <sup>3</sup> 習・復習各30分)
12 .	立ち稽古	台部(予	月を覚える 5習・復習各30分)
13 .	立ち稽古	前回(予	回の復習 予習・復習各30分)
14 .	立ち稽古	前回(予	回の復習 <sup>5</sup> 習・復習各30分)
15 .	立ち稽古	前回	回の復習 予習・復習各30分)
教科書	上演台本	ı	
参考書	上演台本		
[個方法	受講態度(60%)、成果発表(40%) (各稽古・本番後にフィードパックを行う)		_
記すべき 「 項 問・椎 <i>鱗</i>	演出家として多数の作品を演出		
可 性級等			

科	目			2年前期
				必修、専門科目
担当	者	1旦/1、 0次	授業形態 単位数	
授業概	要	2年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋げる本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する。		
到達目	標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身につ	ける。	
学修成身評価基	果の	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
		授 業 計 画( 授 業 内 容 )		授業時間外学習 予習・復習
16		衣装合わせ	衣装 (予	<u>プ<b>白・1</b></u> を自 の用意 習・復習各30分)
17		立ち稽古	前回(予	の復習 習・復習各30分)
18		立ち稽古	前回(予	の復習  習・復習各30分)
19		立ち稽古	前回(予	の復習  習・復習各30分)
20		立ち稽古		の復習  習・復習各30分)
21		立ち稽古	前回(予	の復習  習・復習各30分)
22		衣装合わせ	衣裳	の確定 習・復習各30分)
23		通し稽古	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
24		通し稽古	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
25		ゲネプロ	香盤	表の確認 習・復習各30分)
26		ゲネプロ	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
27	•	公演本番	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
28		公演本番	香盤	表の確認 習・復習各30分)
29		公演本番	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
30		公演振り返り	本番(予	の振り返り 習・復習各30分)
教科	書	上演台本		
参考書		上演台本		
学修成果評価方		受講態度(60%)、成果発表(40%) (各稽古・本番後にフィードバックを行う)		
	項			
質問・相の 受	付			

科目	卒業研究	開講時期 履修方法	2 年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋け本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(4)に対応する。		<u> </u>
到達目標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身に	こつける。	
学修成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	公演概要の説明	配有(予	プ <u>ロ・1を自</u> 5プリントを読んでおく 7習・復習各30分)
2 .	キャストオーディション	配有(予	5プリントを読んでおく 5習・復習各30分)
3 .	本読み	台本(予	を読んでおく 予習・復習各30分)
4 .	本読み 	台本(予	なを読んでおく 予習・復習各30分) 
5 .	本読み	台本(予	を読んでおく 5習・復習各30分)
6 .	立ち稽古	台本(予	なを読んでおく 5習・復習各30分)
7.	立ち稽古		7を覚える 7習・復習各30分)
8 .	立ち稽古	台部(予	引を覚える <sup>4</sup> 習・復習各30分)
9 .	立ち稽古	台記(予	月を覚える 5習・復習各30分)
10 .	立ち稽古	台記(予	月を覚える 5習・復習各30分)
11 .	立ち稽古	台部(予	月を覚える 5習・復習各30分)
12 .	立ち稽古	台部(予	同を覚える 5習・復習各30分)
13 .	立ち稽古	前回(予	]の復習 5習・復習各30分)
14 .	立ち稽古	前四(子	]の復習 5習・復習各30分)
15 .	立ち稽古	前回(予	]の復習 <sup>5</sup> 習・復習各30分)
教科書	上演台本	I	
参考書	上演台本		
『価方法	受講態度(60%)、成果発表(40%) (各稽古・本番後にフィードバックを行う)		
項 問·椎鱗	演出家として多数の作品を演出		
受付			

科	目			2 年後期 必修、専門科目
担当			履修力法 授業形態	
끄크	13	77个羊丛	単位数	
授業概	班要	2年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋げる本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(4)に対応する。		
到達目	標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身につ	ける。	
学修成學	果の	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
		授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
16	i .	衣装合わせ	衣装(予	ブ <b>白 1を白</b> の用意 習・復習各30分)
17	······································	立ち稽古	前回(予	の復習  習・復習各30分)
18	١.	立ち稽古	前回(予	の復習 習・復習各30分)
19	١.	立ち稽古	前回(予	の復習 習・復習各30分)
20		立ち稽古		の復習 習・復習各30分)
21	•	立ち稽古	前回(予	の復習 習・復習各30分)
22		衣装合わせ	衣裳	の確定 習・復習各30分)
23	١.	通し稽古	香盤 (予	表の確認 習・復習各30分)
24		通し稽古	香盤 (予	表の確認 習・復習各30分)
25	· .	ゲネプロ	香盤 (予	表の確認 習・復習各30分)
26	· .	ゲネプロ	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
27		公演本番	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
28	١.	公演本番	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
29	١. ا	公演本番	香盤(予	表の確認 習・復習各30分)
30	١.	公演振り返り	本番(予	の振り返り 習・復習各30分)
教科	書	上演台本		
参考		上演台本		
学修成界評価方		受講態度(60%)、成果発表(40%) (各稽古・本番後にフィードバックを行う)		
特記す个事	項			
賀問・相の 受	付			